

## 令和2年度 第2回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和2年10月26日（月曜日） 18時30分から19時45分
- 2 場 所 庁舎2階 会議室2-1
- 3 出席者 （委員）  
中沢清（委員長）、小山裕紀子（副委員長）、井上祐輔、田中幸男、豆田和子（事務局）  
岡田弘喜（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、  
宇尾野嘉男（地域課地域係主任）  
（欠席者）  
石川かず子、石川淳、小松揚明
- 4 議 題 1 各委員からの報告及び今年度の委員会活動について  
2 その他
- 5 配布資料 1 次第
- 6 開 会 岡田地域課長挨拶
- 7 議 題 1 各委員からの報告及び今年度の委員会活動について

（委員長）

新型コロナウイルス問題の影響があつて、活動自体が表立ってできず、例年実施していたフォーラムに向けた取り組みもできない状況。

各委員の活動状況を報告いただきたい。

### 委員からの報告及び今年度の委員会活動について

・自分達の団体は、直接対面して言葉を投げ合うことが大切なコミュニケーションとなっているが、今の状況では、マスクをしていると口元を見れない。手をつないで行うゲームもできない。

ZOOM（ズーム）アプリを使いオンラインで会話をしている。オンラインのイベント実施のため、PR活動に動いている。

オンラインでは、時差の問題もあるが、海外や日本全国の遠方の方とも交流できるメリットがあり、つながりが広がった。直接会えないのが寂しい面もあるが、会議室に出向かなくても皆で集えるし、今まで参加できなかった方とも話すことができたりする。

・細々ではあるが、フラワーロードに取り組んでいる。ケーブルテレビでも紹介されたりした。今後も毎年花を咲かせて取材していただきアピールをしていきたい。1m幅で長さ100m程の土地を提供していただき植えているが、農業をしている側からすると、花を見に来た人などが、畑に入ってしまったという現状があり、全面的な協力を得ることが難しい。

高根市は実施して3年が経過し、メンバーも増えた。目指しているのは若い世代への引き継ぎだが、なかなかその世代が集まらなく地域防災の面からも心配がある。若い世代を引き込む何かいい方法がないかと思っている。

・フラワーロードは現在、2人で行っているということだが、例えば地域課から教育委員会等の関係各課と連携してもらい、通学路の整備やポイ捨て防止などにつなげて協力者を徐々に増やしていければと思う。そして、同じ場所でもなくてもこの取り組みが色々な場所で行われていくといい。

・現地で写真を撮る人も増えてきているが手伝いをしていただくまでには至っていない。本来は、通学路の両脇に花が植えられ、ポイ捨ての防止にもつながる環境になればいいという構想だったが、なかなか別の通学路の場所まで広げて行くところまでには至っていない。

・時季になると種を購入し、ポットに植え付けて育てているが、町で小学生が道に花植えを行っている同じ物を譲っていただけると助かる。

・仕組みを上手に作れば協働事業にとっても合う形になると思う。通学路の美化、安全、防犯につながるの、町としてもメリットになるのではないかな。

人数を増やし、役割分担を広報や現場、地主との交渉をする人などに分けて今後はこの事業をふくらませられるといい。委員会でも組織や仕組み作りなどの協力をしたい。

・今までの人を集めるイベントから一転、自粛の雰囲気になったまま。ひまわり畑等の事業も種まきを遅らせるなど様子を見たが、雨が多かったりで進まなかった。

今年、海外の種を入手したりしていたのだが、6年ほど行ってきた事業が初めて中止となってしまった。

町と協働で行ってきたひまわり畑も今年は手入れのみとなっている。

・皆で集まって直接会話をするのが目的でもある事業が多いので、飲食を伴う活動はできず、様子をみながら6月半ば頃から徐々に体操のサロンなどが再開してきた。

ZOOM（ズーム）アプリを使いオンラインでサロンを開く動きも出てきた。

施設に向いて直接相手の方と話すことができない現状なので、傾聴ボランティア事業をオンラインで行えるよう復活に向けて進めている。

交流会にもオンラインの動きが出てきていてメリットを活用したい。

来月は、アプリを活用したオンラインの入門講座を2回開く。受講者の方も含め年度末くらいにオンラインの交流会を行う予定。

・今の状況ではまだ協働事業を推進していくことが難しい。

9月から平地林事業も復活し活動している。PTA活動や学校等でもその都度、協働についての周知を行っている。生涯学習推進のための協働事業も考えているが課題もある

ので、事務局にも協力いただきながら解決して行きたい。

また、町で進めた回廊計画を活用し、協働とつなぎ合わせた事業ができないかと思う。個々での活動は再開されてきている。会議も開催できて集まることはできている。会議の内容を町民に知ってもらうことも必要。人を集めて発表できる場がないので、自分の考えとしては、今までの協働事業を振り返ることができるような発信ができればいいと思う。協働を考える会議の立ち上げや協働宣言、推進委員が行ってきたことの歴史が振り返れるようなアピールができればいいと思う。

・今まではフォーラムでも報告できたが、今回はできないので、協働とは何か、推進委員会の取り組みなどを知ってもらう方法も手段だと思う。

・必ず協働事業を行わなければいけないという訳ではなく理解者を増やし、そこから新たな生み出しをすることも大切。理解が深まれば町職員との関係性も深まるのでは。PTA活動を例とすると通学路安全運転呼びかけ隊というのを発足したが警察や町職員が実際に来て住民と活動をすると保護者の方も喜び、参加者も増えた。

・不特定多数を集めるイベントの開催は難しい。

例えば、役場庁舎等で先ほど言われていた町の協働事業を振り返ることができるようなパネル展示等ができればいいと思う。(事務局)

・役場庁舎だけでなく持ち回りで産業祭の時に展示したパネル等を各地域で展示ができるといいPRになる。

・フォーラムの時に展示したパネル等も活用できる。できることを進めて、次年度につなげて行きたい。委員会を開催しても近況報告だけで終わってはメールでも済むということになってしまう。何か形で残したい。委員も出来ることは協力して次回の会議で確認できればいい。

## 8 議題 2 その他

特になし

## 9 閉会 (副委員長)

委員会の今後の活動も見えてきてよかった。

次回委員会は令和3年1月18日(月)、18時30分から、庁舎2階会議室2-1で開催予定。